

鋸山から大岳山へそして秋川溪谷へ

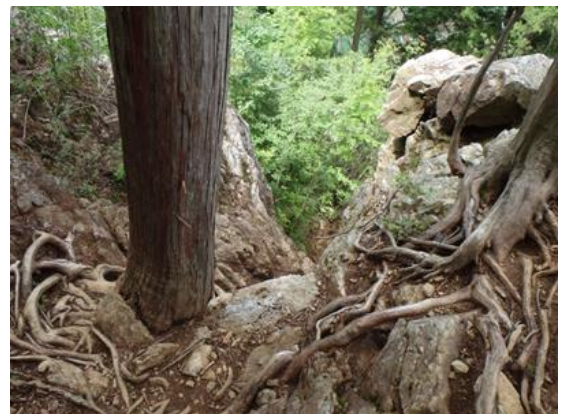
梅雨明けやらぬ7月12日(土)、梅雨の晴れ間に奥多摩を楽しもうと、奥多摩駅前に山歩会のメンバーが集まりました。

集まったのは、中村さん(46年卒)ご夫妻、宮尾さん(55年卒)、平尾さん、長野(以上52年卒)の5名。この日のコースは、愛宕神社から尾根道をたどって、鋸山を經由して、奥多摩三山のひとつ大岳山へ。そのまま峰々の反対側へ抜けて秋川溪谷へ下って、温泉を楽しんで帰るというもの。およそ8時間、標高差1,000mの結構タフなコースです。



スタート直後の愛宕神社への長い石段(数えると189段ありました！w(@@)w)が、タフなコースの始まりです。安全登山を祈念して、ここから鋸山(1,109m)まで長い尾根道をたどります。

ただひたすらの登り道。と思いきや！途中、鎖場や、岩登り、梯子段もあって、かなりキツイ登りとなりました。



木々の間を歩くため、日差しの照りつけはありませんが、蒸し暑くて汗が噴き出ます。途中シャツを着替える時に、シャツを絞ったら滝のように汗が！！ その所為もあって、地図で2時間のところ3時間をかけて、ようやく鋸山へ到着。予定を変更して、山頂で昼食。ワインと弁当でガソリン補給して、いざ大岳山へ！



大岳山までの尾根道も、アップダウンの連続です。岩場を下ってまた登り。アップダウンを繰り返して、歩くこと1時間半。ようやくこの日の目的峰の大岳山(1,267m)に到着！！ 平尾さんが持って来てくれた待望のビールで乾杯！思った以上にタフなコースを登ってきて、メンバーの喜びも一入です。



この後は、秋川溪谷に向けて下るのみ！(〃) 登りに時間を要したので、下りは短いコースを選択。白倉のバス停へ向けてひた歩きます。下りは、両足、膝に荷重がかかります。足の張りりと、膝の痛みに耐えつつ、ようやくバス停にたどり着きました。メンバーも憔悴気味！(〃)



ほどなく、バスに乗って、ご褒美の温泉“瀬音の湯”へ。今日一日の疲れを癒します。温泉のあとは、ビールと夕食。メンバーそれぞれ語り合い、メンバーの人となりに触れることができる素敵なひと時です。



タフなコースを克服した充足感に浸りつつ、それぞれ帰路にいたのでした。

この秋も、日帰りトレッキングを計画します。会員の皆さんもお気軽にご参加ください。